

第2章 学校教育の情報化の方向性

高度情報通信ネットワーク社会が世界規模で進展する中、ICTの利便性を享受する一方、ICTを自ら活用し、主体性を持ちながら情報を世界に発信し活躍できる人材を育成することは、情報教育が担うべき大きな目標となっている。

このため、国においては、「わが国が世界最先端のICT国家となるための戦略」として、e-Japan戦略を打ち出し、高度情報通信ネットワーク社会の形成に向けた施策が推進されてきた。「人材の育成及び教育・学習の振興」の分野では、学校教育の情報化推進計画が打ち出され、学校の情報化施策が進められてきた。

社会のあらゆる面で、ICTとの関わりがますます深くなっていく時代にあって、学校教育における「教育の情報化」の計画的・組織的な一層の推進とその環境整備が求められている。

1 新しい時代に必要な資質

高度情報通信ネットワーク社会の進展は、情報化の影の部分をも顕在化させてきている。情報社会における社会的規範の欠如に起因する個人情報の流出やセキュリティの侵害、ネットワークを使った犯罪が発生し、早急な対応が求められている。

一方、コンピュータや携帯電話などの情報通信機器の利用は、低年齢化している。このような社会は、多様な可能性を与える一方で、危険の潜む世界となりうることを理解させ、対応力を身につけさせるため、家庭や地域、学校の中で、情報機器に関する活用スキルやメディアリテラシー、コミュニケーション力などを身につけさせることが求められている。

- ・ 情報社会の中で、自ら考え、主体的に行動できる力
(総合的な情報活用能力)
- ・ 情報手段を用いて、情報を見極め、取捨選択し、活用、発信する力
(メディアリテラシー)
- ・ ICTを活用してコミュニケーションできる力
(コミュニケーション力)
- ・ ICTを正しく安全に活用できる力
(情報モラル・マナー)

2 学校のICT環境の整備

(1) 各学校種によるICT環境整備の状況

学校におけるICT機器の整備状況を見ると、各学校種ともにインターネット接続及び校内のネットワーク環境や各教室等へのLAN整備はほぼ全国レベルにある。県立学校は、平成17年度に校内LAN整備が完了し運用されているが、公立小中学校においては、地域間・学校間には差異が見られ、市町村においての継続した取組が必要である。

(2) 宮城県学習情報ネットワーク（みやぎSWAN）

市町村立学校（仙台市を除く）及び県立学校すべてを超高速インターネット等で結び、人的ネットワークの維持し継続できる宮城県学習情報ネットワーク「次期みやぎSWAN」の検討整備

(3) 市町村との連携

学校教育の情報化に向けて、各市町村の整備状況の差異が見られることから、相互の整合性や進捗状況等を確認し、総合的かつ戦略的に推進していくことが特に重要である。

県においては、全庁的な推進体制を確立し、電子県庁構築を目指している。県教育委員会においても、全県的な情報化推進体制を確立することが必要である。

3 教員のICT指導力の向上

教員一人一人が、情報化に対応し、創意工夫をもって授業づくりに取り組み、あらゆる教科ですべての教員がICTを活用して指導できるよう絶えず向上させていくことが必要である。

このことから、教員のICT活用指導力の基準の具体化を図り、到達目標を明確にするため、文部科学省で策定した教員のICT活用指導力チェックリストを活用した研修をする必要がある。

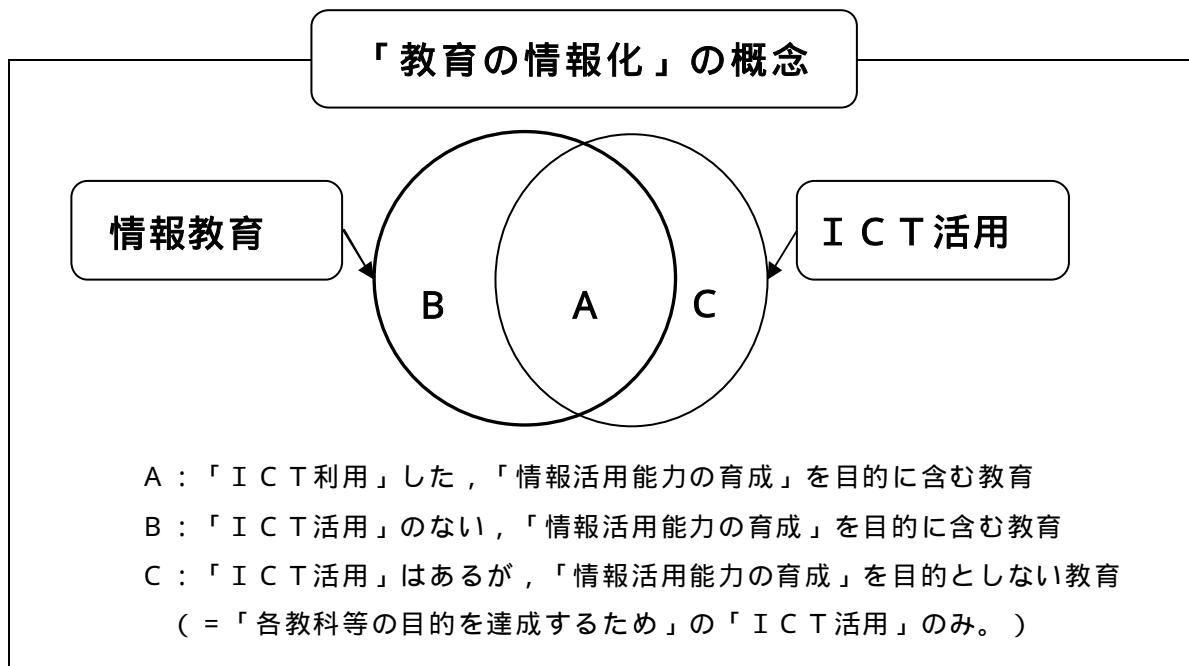
【教員のICT活用指導で求められる能力】

- 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
- 授業中にICTを活用して指導する能力
- 児童生徒のICT活用を指導する能力
- 情報モラルなどを指導する能力
- 校務にICTを活用する能力

4 ICT教育の充実

「教育の情報化」の目的は、子どもたちの情報活用能力の育成、すなわち体系的な「情報教育」の実施に加え、各教科等の目標を達成する際に効果的に情報機器を活用することを含むものである。実際に指導を行う教員が、その関係を理解した上で指導することが必要となる。

また、教科等におけるICTを活用した学力向上への取り組みとして、「わかる授業」を実現するため、みやぎ教育ポータルサイトを活用したコンテンツ（教材・素材等）の充実と活用の促進を行う。



文部科学省 初等中等教育における情報教育の考え方

5 校務の情報化の推進

教員が、教材研究や授業の準備、個別指導の充実を図るために校務の情報化が必要である。また、校務の情報化を推進するための校務処理用ICT活用環境の整備をすることや、児童生徒の個人情報の保護などセキュリティを高めることが必要である。

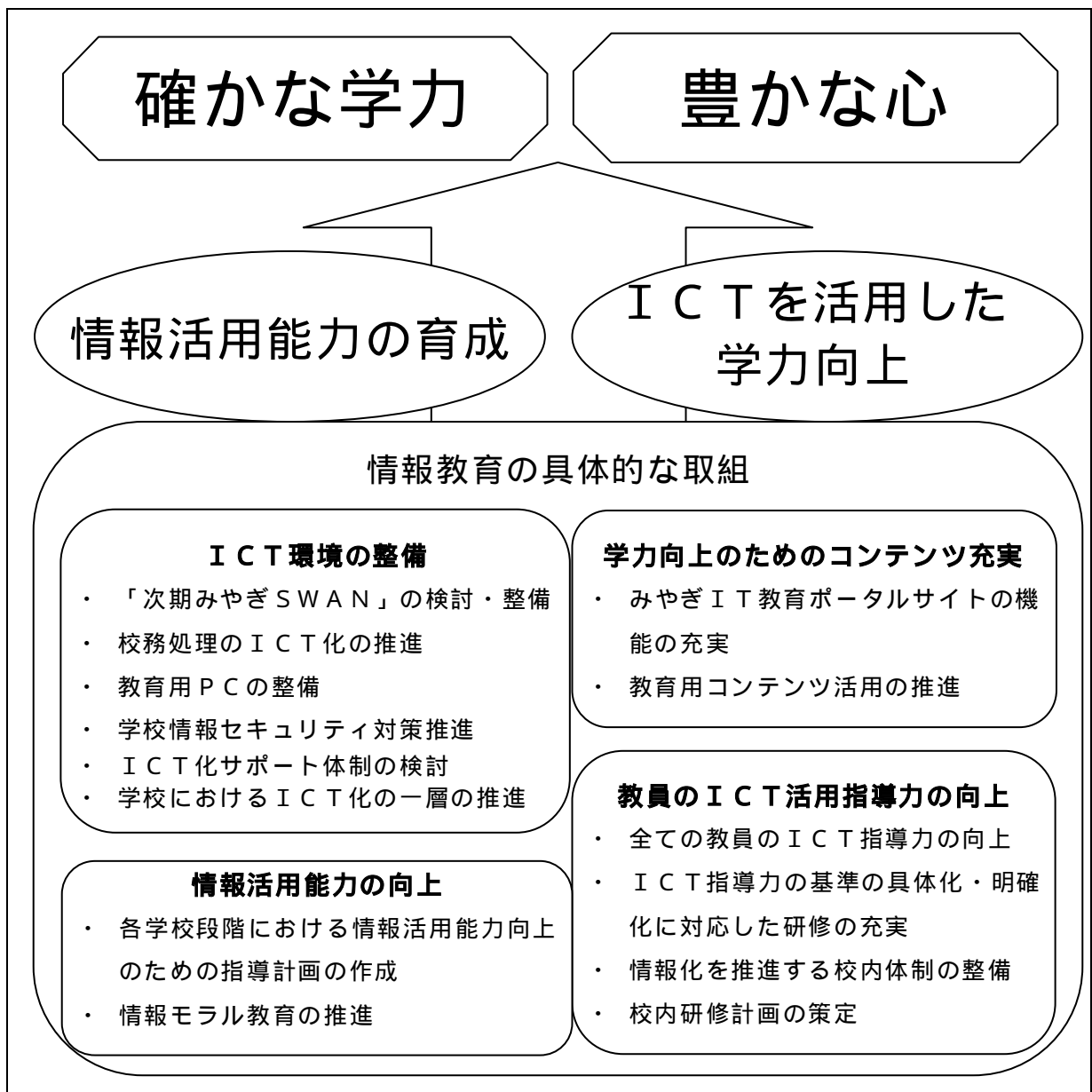
6 情報の安全確保と情報モラルの育成

社会の情報化の進展は著しく、高度情報通信ネットワークは、急激に拡大している。特に、携帯電話やパソコンで簡単に利用できるインターネットが急速に普及したことにより、いつでも、どこでも、だれでも、簡単に情報の収集・処理・発信が行える環境になってきている。そのため、児童生徒が情報に触れる機会が多くなっ

てきた。それに伴い，情報の安全性確保が必要になっている。そこで，家庭や地域に対し，情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育成する情報モラル学習と有害情報に関する対策の啓発が必要になってきている。

7 特別支援教育への活用

ICTの有効性を積極的に活用し，一人一人の状況に応じた支援をすることが必要である。併せて，ICTを十分に活用するため，一人一人の障害の状況に応じて，周辺機器等も含めたICT環境の整備が必要である。



8 みやぎ ICT 教育推進年次計画

みやぎ IT 教育推進構想に基づき，県教育委員会の IT 施策の展開と連携し，次のような「みやぎ ICT 教育推進年次計画」のもと，その役割を果たす。

この年次計画の推進にあたっては，進捗状況や問題点等について継続的に点検を行い，その円滑な推進に努める。

また，この年次計画は，国の動きや情勢の変化に応じて適宜見直しを行う。

		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
県教育委員会		推進協議会の開催 ICT 教育環境整備 次期みやぎ SWAN のシステム検討	推進協議会の開催 ICT 教育環境整備 ICT 教育推進構想 の見直し	推進協議会の開催 ICT 教育環境整備 次期みやぎ SWAN の構築
みやぎ ICT 教育 推進協議会		重点施策の推進	重点施策の推進 ICT 教育推進計画 の見直し	重点施策の推進
ブ ロ ジ エ ク ト 委 員 会	交流推進 プロジェクト e-Human	ポータルサイト充実 支援	ポータルサイト充実 支援	ポータルサイト充実 支援
	研究開発 プロジェクト e-School	情報モラルコンテン ツ研究開発 指導資料作成	情報モラルコンテン ツ研究開発 指導資料作成	情報モラルコンテン ツ研究開発 指導資料作成
	連携協力 プロジェクト e-Community	情報活用能力向上の ための指導計画作成 指導資料作成	情報活用能力向上の ための指導計画作成 指導資料作成	情報活用能力向上の ための指導計画作成 指導資料作成